



一中だより

7月号

令和6年7月1日発行

福生一中ホームページ <https://fussa-1j.hs.fussa.school/>

学校の日々の様子をブログにて紹介しています。



「リフレクション（ふり返り）」のすすめ

校長 金子 敏治

関東地方もようやく「梅雨入り」しましたが、観測史上3番目の遅さだそうです。今後、気温が上昇し真夏日が続く予報ですので、熱中症への十分な対策を進めていきましょう。

さて、早いもので1学期も残り3週間となりました。6月19～21日には第1回定期考査を実施しました。生徒はそれぞれに集中力を発揮し、各教科の問題に取り組んでいました。授業や家庭で学習したことが定着し、必要な時に発揮できるようになりたいとだれもが願うことです。今日は、その参考になる一つの理論を紹介します。それは、「(リフレクション) ふり返り」です。ふり返ることの大切さは、皆が知っていることですが、アメリカの教育者、コルブは、経験的学習理論の中で、「**自らの経験や学習を良い点、改善点を含め、客観的にふり返り、言語化することで、その後の学習を深めたり、新しい学びの気づきを促したりする**」と述べています。日常の復習を行う場面で、これまでよりも少し時間をかけて、じっくり考えてみたり、文字に書いてまとめてみたりすることで、学びが深まったり、新たな発見が生まれたりします。現在、教科ごとに定期考査の返却時に、問題の解説やワークシート等を活用してふり返りを行っています。その後の家庭学習等において、できなかった問題を再度解いてみたり、自分で調べたり他の人から教えてもらったりすることで理解できるようになる経験を積み重ねる習慣を身に付けることが大切です。さらに、見直した定期考査の問題や解答用紙をファイリングし、保管しておくこともお勧めです。これらの取組を続けていくことで、生徒自身が自分に適したより良い学習方法を見つけることができるようになっていきます。



また、学習面と同様に大切なのが、生活面の「ふり返り」です。今後、各学級でキャリア・パスポート等を活用し1学期のまとめを行います。生徒が努力、挑戦した点はさらに伸ばしながら、自信や自己肯定感を高めていくとともに、不十分だった点や改善すべき点は、今後どうしたら良いか考え、具体的な言動に表していくことで、成長への糧としていくことを期待します。

保護者の方々など他者からの評価は、学習の深まりや、新たな気づきの効果を高めます。お子様への励ましや支援をよろしく願いいたします。

ふっさ文化の杜委員会

令和6年度ふっさ文化の杜委員会（コミュニティ・スクール（CS）学校運営協議会）の皆様を紹介します。

委員長 （1名） 副委員長 （1名）
委員 （8名）

CS委員会では、今年度の組織や活動方針、学校経営方針の承認、防災講演会や職業講話等の具体的な活動内容等について検討し、生徒にとってより良い教育環境の整備を進めていきます。